

これまでの活動報告

1月
障害者政治参加ネット Zoom大会

2月
全員協議会
緑のまちづくり審議会傍聴
防衛大学校人権侵害裁判報告会



3月
3月議会（一般質問） 予算特別委員会

いのちを想う キャンドルナイト in 大牟田
総がかり行動街頭遊説（JR大牟田駅）

新型コロナウイルス感染症収束後の新しい生活様式を見据えたリフト付き貸切バスの利用の仕方について意見交換会

オンライン講演会「農林漁業を核にした地域循環経済の形成へ」（東京大学・鈴木宣弘教授）
服部誠太郎福岡県知事候補街頭遊説

4月
自閉症啓発イベント→
大牟田市職員新人研修講師



大牟田市消防団入団式（消防署）

これからの活動予定

5月
臨時議会



6月
6月議会

お困りごとなどご相談ください

でんわ：090-2517-4005
ファックス：0944-85-0028
E-mail: furusho_net@hotmail.com

ホットニュースを読んで頂ける方にはお礼申し上げます。お気軽にご連絡ください。

ご投稿：ストレスを学ぶ授業の必要性



とみながよしき
富永良喜
兵庫県立大学大学院
減災復興政策研究科教授
臨床心理士・公認心理師

子どものストレス・いじめ・不登校・暴力・虐待・犯罪被害、そして自殺。1995年阪神淡路・大震災と1997年神戸児童連続殺傷事件を受けて設置された心の教育緊急会議は、心の教育の充実を提言しました。しかし、作成された心のノートは道徳ノートでした。その延長線上に、2011年東日本大震災の年に大津いじめ自殺事件が起き、いじめ・自殺防止のために道徳が教科になりました。もちろん、道徳は必要ですが、ストレスは道徳では扱えません。ストレスは保健の時間で学びます。しかし、小5と中1に1時間、計2時間しかありません。

コロナ禍で子どもたちのストレスは東日本大震災後に匹敵するか、それ以上です。子ども自身がなにもイライラしているのか、どうすればいいのか、学ぶ時間がなかったのです。しかし、3月8日参議院予算委員会で私たちのコロナ誹謗中傷防止授業を視察した国会議員が小1から高3までストレスを学ぶ授業の必要性を訴えてくれました。文科大臣は「総合的な学習や特別活動でもストレスを学ぶ授業ができる」と答弁されました。大牟田市教育委員会や福岡県教育委員会が、総合的な学習や特別活動の時間を活用して年間計画を立て、子どもが自分のストレスに向き合い望ましいストレス対処を学ぶ時間を担任とスクールカウンセラーや養護教諭との協働で実現してほしいと思います。

私は古庄和秀議員とは彼が幼いころからの応援者であり同志です。この投稿の機会を頂いたことに感謝いたします。

【第2部：一般質問、新年度予算と活動報告など】

【第1部の一般質問の続き】

問 サン・アビ祭りや開館当初から移動が困難な方々の送迎サービスなどの特徴的なものはそのまま引き継がれるのかを伺いたい。

答 移動が困難な利用者の送迎サービスなど特徴的な取組や各種のイベントは、基本的には整備後の総合体育館でも実施する方向で関係団体や利用者の皆様と協議していく。

9. 延命地区全体の文化・体育的な地域づくり

問 本市は押し花文化の発祥の地で、特に、押し花が色あせにくい特殊な技術も開発されている。今回、公園には車椅子やベビーカーなどの高さで楽しめる花壇なども整備され、全体的にもユニバーサルデザインになる。車椅子に乗った高齢者、障害者、ベビーカーに乗ったお子さんとともに訪れた方々が花壇で花を育て、摘んで、体育館で押し花を作り、自宅や学校に飾る。それを見た人が興味を持つ。そのような文化のまちづくりの好循環が生まれないか期待する。

全国的にもこのようなストーリー性のあるソーシャルインクルージブで、かつ地元の文化芸術を深める取組は先進的だ。お考えを伺いたい。

答 文化芸術振興プランでは、押し花をかるた、漫画、絵本などと同じく本市の文化芸術の特色と位置づけ、本市の魅力の一つだ。延命公園において、多くの市民の皆さんが花を見て楽しみ、押し花をはじめとした創作活動に取り組みされることは、本市における文化芸術活動の進展を促すことにもつながる。そういった活動ができるよう、関係者の皆様と協議していく。

要望 7月豪雨も視察された赤羽国土交通大臣がいつも「バリアフリーは国家の品格だ」とおっしゃる。そのような観点から、ソーシャルインクルージブを進めるまちづくりをすすめてほしい。

大牟田市過疎地域指定から外れる

過疎新法が3月26日成立。大牟田市は現行法で過疎地域に指定されていたが、要件を満たさないと、卒業団体となる事が決まった。

人口要件はクリアしていたが、財政状態が改善しているため、卒業となった。今後は6年間の経過措置が講じられ、これまで通り、一定の過疎債を発行する事ができる。

また、障害福祉、介護保険などの地域加算も経過措置があるものの、対象の事業者はそれぞれでご確認ください。

参考：2010～2019年度までの過疎債：133億円
(学校再編、道路の新設・改良、中学校給食センターの整備など約60事業)

西鉄バスを利用しましょう

コロナ禍により、乗客の減少がさらに進み、路線バス運行対策事業費補助の



・予算額が、1800万円⇒3700万円
・対象路線が、3路線⇒5路線になりました。

庄山、南関、黒崎、【追加】米の山、倉掛

※できる限り公共交通機関を利用しましょう。

新年度の新規事業

※主な事業は次ページにあります。

小児・若年者がん患者在宅療養生活支援	10万円
景観重要建造物等補助	60万円
犯罪被害者等支援費	30万円

相談窓口を設置するとともに、経済的負担の軽減のため犯罪被害者等見舞金を支給

交通遺児等援護事業費補助	7万円
--------------	-----

交通事故防止・交通安全に関する広報や啓発等の取組みを支援	まんえん
------------------------------	------

ひとり親世帯特別給付金（児童一人当たり5万円）	まんえん
-------------------------	------

※詳しくは広報おおむた（4月15日号）参照

令和3年度 市の方針と主要な事業

最優先課題

災害からの復旧・復興と災害に強いまちづくり
新型コロナウイルス感染症対策と地域経済の活性化

災害からの復旧・復興と災害に強いまちづくり

1. 被災者支援

●被災者の見守り・相談

地域支え合いセンターの相談員による巡回訪問により、支援ニーズの把握などを行い、必要な支援が届くように取り組めます。(5714万円)

●被災者への住宅の提供

自宅が被災し、住宅に困窮している人に公営住宅及び民間賃貸住宅の一時提供を行います。

(民間住宅借上事業 3767万円)

●就学援助

り災証明書の交付を受けた世帯を対象に就学援助を実施します。(2656万円)



2. 生活基盤の早期復旧

●災害復旧の推進

地区公民館、農地・農業用施設、公共土木施設、社会福祉施設、学校の災害復旧を進めるとともに、災害対策を講じます。

- 農地・農業用施設等災害復旧事業 6750万円
- 地域防災がけ崩れ対策事業 8億8500万円
- 社会福祉施設災害復旧事業 6160万円ほか

3. 災害に強いまちづくり

●浸水被害対策及び排水対策基本計画の策定

水路・調整池・河川等の浚渫及び道路冠水監視カメラの設置を必要箇所で行い、浸水被害対策を図ります。又、排水対策基本計画策定に着手。

- 浸水被害対策事業 1億 735万円
- 排水対策基本計画策定事業 2500万円

●三川ポンプ場の整備

新設するポンプ場の設計に着手します。新設するポンプ場については、耐水化を図るとともに、排水能力についても現施設より増強する方針で取り組めます。 2億1400万円

●防災対策の強化

災害時の情報収集及び救助活動等を強化するため、ドローンやIP無線機、ボートを整備します。また、災害対策本部の機能を強化します。

- 消防資器材整備事業 934万円
- 災害対策本部機能強化事業 458万円
- 防災設備等整備事業 223万円

●避難所機能及び情報発信の強化

避難所へのポータブル発電機の配備や、避難所となる学校の教育環境の整備・充実(特別教室への空調設備設置等)を図り、避難所機能を強化します。また、円滑に避難できるように浸水マップの作成、テレビのデータ放送やLINEを活用した災害等の緊急情報発信を強化します。

- 避難所機能強化事業 713万円
- 空調設備設置事業 1500万円
- 地域防災力強化事業 56万円
- 情報発信強化事業 395万円

●防災・減災教育の推進

推進校において、地域と連携した防災・減災教育等を実施し、各学校における防災・減災教育の充実を図ります。 30万円

コロナウイルス感染症対策と地域経済の活性化

1. 感染拡大防止

●ワクチン接種の推進 7億5123万円

※広報おおむた4月1日号のP4参照

●公共施設における感染防止対策

地区公民館、文化会館等のトイレの洋式化・自動手洗い器の設置等を行い、感染拡大防止
地区公民館：2950万円 文化会館：1400万円他

2. 市民生活支援

●相談体制の充実と住まい確保の支援

生活保護の相談員の増員：237万円
退職等により住居を喪失した等の生活困窮者に対し住居確保給付金を支給：1480万円

●文化芸術活動の振興、図書の実践

文化芸術活動のオンライン配信、図書の充実

3. 地域経済活性化

- 地域経済の活性化 市内消費を喚起のため
- キャッシュレスキャンペーン事業：6100万円
- おおむたプレミアム商品券事業：6784万円
- 地域経済活性化キャンペーン事業：1400万円

●企業の人材確保支援 500万円

市内企業における若者の人材確保のため、オンライン会社説明会を開催

4. 児童・生徒の学習機会の確保

- 学校トイレ洋式化、感染防止対策 8070万円
- 学習支援員等の各校1名配置 4550万円
- 就学援助 280万円

5. コロナ禍における行政運営

- キャッシュレス収納の推進、テレワーク推進
- キャッシュレス収納事業：200万円
- テレワーク推進費：3433万円

【引き続きすすめる3つのまちづくり】

若者が夢をもって働くまちづくり

1. イノベーションの創出、企業のIT化の推進

●イノベーション創出 【新規】1億1136万円

イノベーション創出拠点の整備やビジネスマッチング、交流イベント等に取り組む民間事業者を公募し、補助を行います。また、若者を対象にAI・IT分野やビジネスに関する高い専門性のある人材育成研修を行います。

●中小企業のIT化の支援 【拡充】1000万円

中小企業の競争力強化や地域産業の活性化を図るため、IT導入を支援します。

●環境配慮型企業の創出 【拡充】20万円

低炭素型社会の実現を目指す国の動向等を踏まえ、環境配慮型企業の創出に向け、地域企業に積極的な情報発信を行います。

2. 企業誘致の推進

- 新大牟田駅南側産業団地整備8億6167万円
- 多様な企業の誘致 8361万円

AI・IT等の情報関連産業をはじめ宿泊施設の誘致を進めるなど、多様な産業の企業誘致に取り組めます。

3. 市内企業への就業の促進

●高校生等への企業情報発信の強化 680万円

新たに市内企業の紹介冊子を作成し、市内高校生等へ情報提供するほか、高校生向けの就職ガイダンス等を継続します。

●市内中小企業等就職者への支援 970万円

若者が市内中小企業等に正規雇用で就職した場合、奨学金の返還や賃貸住宅の家賃の一部支援を継続。

4. 意欲ある農業者の支援

●新規就農者定着に向けた支援 【新規】1000万円

●生産効率性向上への支援 【新規】99万円

子育て世代に魅力的なまちづくり

1. 安心して出産・子育てができる環境の整備

●学童保育所待機児童ゼロに向けた取組み

学童保育所キャリアアップ処遇改善費【新規】1808万円

●不妊治療費等の支援

特定不妊治療費助成 【新規】 361万円

●子ども医療費助成事業 【継続】2億8072万円

●子育て世代包括支援センター事業 【継続】2317万円

●保健センター整備 【継続】6635万円

2. 学校教育の充実

●学校ICT活用推進事業 【新規】3361万円

●英語教育ステップアップ事業 【拡充】152万円

●SDGs/ESDの推進 【拡充】304万円

安心して元気に暮らせるまちづくり

1. 延命公園を健康づくりと憩いの交流空間として整備

●(仮称)総合体育館の整備 【継続】6億1456万円

●延命公園及び周辺道路の整備【新規】3570万円

2. 動物園80周年記念事業等【新規】1428万円

「ともだちや絵本美術館」とも連携し、記念式典や映画「いのちスケッチ」の記念上映等のイベントを行います。また、動物園への案内板等整備のほか、高齢者や障害者等の園内移動を支援する実証実験を行うなど、動物園の魅力向上に取り組めます。

●高齢者のフレイル予防事業【継続】265万円

●地域公共交通計画策定【新規】800万円

●移住・定住促進事業【拡充】331万円